令和２年度ふるさと納税実績報告

寄附件数
91,614件
令和元年度実績=70,761件
令和元年度比較　1.29倍／20,853件増

寄附総額
33億2,906万円
令和元年度実績=27億4,180万円
令和元年度比較　1.21倍／5億8,726万円増

ふるさと納税とは

ふるさと納税は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として、平成20年に始まった制度です。「納税」という言葉がついていますが、実際には都道府県、市区町村への「寄附」です。ふるさと納税では、原則として自己負担額の２０００円を除いた全額が所得税および住民税の控除対象となります（ただし、一定の上限があります）。

制度開始以来、本市では「枕崎市ふるさと応援基金」を創設し、まちづくり関係の事業に活用してきました。

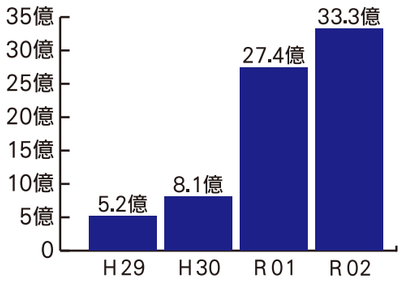
さらに、平成27年度から寄附者への返礼事業を開始し、枕崎の特産品等を返礼品として送付しています。

令和２年度の寄附件数は９１６１４件となり、令和元年度と比較して１・29倍、２０８５３件の増となりました。また、寄附総額は33億２９０６万円で、令和元年度と比較して１・21倍、５億８７２６万円の増となりました。

いただいた寄附金は、「枕崎市ふるさと応援基金」に積み立て、「枕崎市ふるさと応援寄附条例」で規定する事業に活用しています。

ふるさと応援寄附額の内訳（使途別）、ふるさと応援基金を活用した主な事業については、以下をご覧ください。

◎ふるさと応援寄附額の推移



◎枕崎市ふるさと応援寄附条例

寄附者の想いを反映した魅力的で活力あるふるさと枕崎の構築に資することを目的に、寄附金の管理運用等について必要な事項を定めている条例です。

◎枕崎市ふるさと応援基金

ふるさと納税の寄附金は、返礼品の調達に係る経費を除いて一旦、枕崎市ふるさと応援基金に積み立てられます。その後、取り崩し、ふるさと応援寄附条例で使途が規定されているまちづくりに関する各事業に活用されます。

【ふるさと応援寄附額の内訳（使途別）】

1	自然環境保全やまちなみ景観整備など生活環境の整備等に関する事業	320,048,000円
2	快適で便利なコンパクトなまちづくりを目指した都市基盤の整備等に関する事業	54,407,000円
3	農林水産業をはじめとする地場産業や観光の振興等に関する事業	307,190,000円
4	出産・子育て支援をはじめとする福祉の増進や健康増進等に関する事業	521,482,500円
5	教育・文化・芸術・スポーツの振興等に関する事業	231,417,500円
6	市民や地域づくり団体との協働等による市民ぐるみのまちづくり等に関する事業	44,896,000円
7	その他まちづくりに関する事業	22,086,000円
8	令和２年台風10号	5,175,777円
9	使途の指定なし	1,822,359,040円

【ふるさと応援基金を事業に活用した総額（令和２年度）】

９億3,500万円

【ふるさと応援基金を活用した主な事業（寄附金活用額）】

1	**生活環境保全事業** ⇒不法投棄ごみの収集、ヤンバルトサカヤスデのまん延防止および駆除業務など	490万円
2	**農業後継者育成対策事業** ⇒農業後継者への就農支援	480万円
3	**枕崎ブランド発信事業** ⇒「枕崎ブランド」の情報発信や販路拡大など	990万円
4	**予防接種事業** ⇒定期予防接種、インフルエンザ予防接種助成など	2,290万円
5	**子ども医療費助成事業** ⇒中学校までの子ども医療費の自己負担額助成	1,520万円
6	**小・中学校パソコン整備** ⇒小学校児童用パソコンおよび小・中学校校務用パソコン整備	2,570万円
7	**ふるさと納税返礼事業** ⇒返礼品調達費用など	４億5,500万円

Topic1 「かつおボニートチップス」が農林水産祭で天皇杯を受賞

11月23日に東京都の明治神宮会館で開催された令和３年度農林水産祭において、鹿児島水産高校と枕崎市漁業協同組合が共同で開発した「かつおボニートチップス」が最高賞の天皇杯を受賞しました。

今回の受賞は、同校の生徒が発案や包材のデザインなどを行ったほか、地域が連携して商品を開発したことや全国の水産高校の入学希望者の増加に寄与するモデルケースになりうることなどが評価されたもので、水産部門での天皇杯の受賞は、昭和43年の鰹節での受賞以来の快挙となります。

▲授与された天皇杯

Topic2 薩南海岸県立自然公園指定記念フレーム切手を発行

４月16日に本市の赤崩鼻から南九州市頴娃町郡に至る海岸と大野岳を含む周辺地域が県内９カ所目の県立自然公園に指定されたのを記念して、日本郵便九州支社が指定記念フレーム切手を発行しました。

11月22日には市役所で贈呈式が行われ、南薩大川郵便局の大迫雅彦局長から小泉副市長へ切手シートが贈呈されました。贈呈式で大迫局長は「薩南海岸の素晴らしいフレーム切手ができた。今後、県内外に紹介していきたい」と話しました。

Topic3 小中学生が科学の楽しさを学ぶ～わくわく科学教室 in 枕崎

小中学生に科学の楽しさを知ってもらおうと、市内の小中学校、高校の教職員で構成する「枕崎の理科を語る会」が主催する「わくわく科学教室 in 枕崎」が11月20日、枕崎市市民会館で開催され、約200名の児童生徒や保護者が参加しました。

科学教室では、煮干しの解剖やスライムづくり、空気砲体験などの６種類のブースが設けられ、参加した児童生徒はそれぞれのブースの教職員に教わりながら、科学の楽しさを学びました。

Topic4 松崎ひろ美さんが生涯スポーツ功労者表彰を受賞

地域または職域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者およびスポーツ団体を表彰する生涯スポーツ功労者表彰を松崎ひろ美さんが受賞しました。

松崎さんは　昭和60年から枕崎市ソフトボール協会に所属し、36年に渡りソフトボール競技の普及・啓発に努めてきました。特に、ソフトボール競技における女性競技者の育成に注力し、平成13年から枕崎市ソフトボール協会女性強化委員長、平成14年からは南薩地区ソフトボール協会女性委員長として、大会の運営に携わるほか女性競技者の育成・発掘に尽力しました。

松崎さんは「皆さんの支えがあって賞をいただくことができました。これまで携われたことに感謝しています」と話しました。